

2022年10月21日

(第3種郵便物認可)

Q 電気代が上がつていいるので、太陽光発電の設置を考えています。導入を検討する際のポイントは?

A 昨今の資源高や、急速な円安などによる電気代の高騰で、太陽光発電の導入を検討する企業が増えています。また、カーボンニュートラル社会の実現を目指す日本政府は、太陽光発電など再生可能エネルギーを、将来の主力電源と位置付けています。今後、

中小企業 診断士による 経営 Q&A

使う「自家消費型」が、普及の中心になると言われています。太陽光発電の導入には、三つのポイントがあります。

一つめのポイントは「導入方式の選定」です。太陽光発電を導入する場合、自ら所有する方式と第三者が所有する方式があります。前者はこれ

が特徴です。この方式でも、春から電気料金の見直しが予定されています。今後の電気料金は、年々、設定されますが、このままでは、太陽光発電までの主流で、初期投資やメンテナンス費用が増えていきます。

二つめのポイントは「導入料金単価で利用できます。一部の電力会社では、次に春から電気料金の見直しが予定されています。今後の電気料金は、年々、設定されますが、このままでは、太陽光発電までの主流で、初期投資やメンテナンス費用が増えていきます。

三つめのポイントは「補助金の活用」です。太陽光発電の導入には、国や地方自治体の補助金制度があります。第一回は、カーボンニュートラルを両立する手段です。

埼玉県中小企業診断協会は、カーボンニュートラルに向かう支援を承つておりますので、お気軽にご相談ください。

(中小企業診断士・増田利連絡先・一般社団法人埼玉県中小企業診断協会(☎048・7622・3350)